

少年期（1951）

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 111分
初公開日 1951/05/12

【解説】

信州に疎開した心理学者の波多野勤子と、勉学のため東京に残った長男との往復書簡をまとめベストセラーとなった『少年期』を映画化。木下恵介が田中澄江とともに脚本を書き監督した。

英文学者の小林とその妻は、長男の一郎を小石川に残して諏訪に疎開した。恩師が戦死したことを知った一郎はショックを受け、数ヶ月後に小石川へ疎開していく。英文学を教えていた父は戦争で職を失い、今は本ばかり読む毎日。代わって母が働き一家を支えていた。やがて一郎は父に反発を覚えるようになる。

【クレジット】

監督 木下恵介
製作 小倉武志
原作 波多野勤子
脚本 木下恵介
田中澄江
撮影 楠田浩之
音楽 木下忠司
出演 田村秋子
石浜朗
笠智衆
三国連太郎
小林トシ子
北龍二
三好栄子